Creative Enzymes®

サーモトガ・マリティマ由来のα-グルクロン酸エステラーゼ 4A、組換え型

Cat. No. NATE-1450

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酵素学において、アルファ-グルクロンイダーゼ（EC 3.2.1.139）は、次の化学反応を触媒する酵素です：アルファ-D-グルクロンシド + H2O ↔ アルコール + D-グルクロン酸。したがって、この酵素の二つの基質はアルファ-D-グルクロンシドとH2Oであり、その二つの生成物はアルコールとD-グルクロン酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、具体的にはO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼです。この酵素クラスの系統名はアルファ-D-グルコシドウロン酸グルクロンヒドロラーゼです。この酵素はアルファ-グルコシドウロン酸酵素とも呼ばれます。
別名	EC 3.2.1.139; アルファ-D-グルコシドウロン酸グルクロンヒドロラーゼ; アルファ-グルコシドウロン酸酵素

製品情報

種	サーモトガ・マリティマ
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および 25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.139
CAS登番号	37259-81-7
分子量	56.7 kDa
純度	>50% SDS-PAGEによる
濃度	0.25 mg/mL
最適pH	5.0-11.0
最適温度	60 °C
特異性	p-NP-α-D-グルクロンピラノシド

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。